

# ふくおか経済

FUKUKEI  
vol.311

特集  
スタートアップ  
マンション市況

表紙の人  
**忍田 勉** カンサイホールディングス社長  
持ち株会社体制で新たなステージへ

企業取材  
栄住産業  
ZOOM UP  
ジエイコム九州  
県外企業レポート  
長府製作所  
東武住販

広告特集  
メイド・イン・ふくおか：九州  
暑中見舞い誌上名刺交歓



## “増収増益”企業が増加 地場主要企業94社の決算

### 国内初の新型機導入で工場見学会

三松

各種機械装置部材加工・組立の(株)三松(筑紫野市岡田3丁目、田名部徹朗社長)は国内初のファイバーレーザー複合加工機を導入し、披露を兼ねて5月23日と24日に工場見学会を開いた。

取引先メーカーなど10社と共催して開いたもので、見学会は4年ぶり。両日で延べ千人が来場した。新型機はアマダ製で、ファイバーレーザーは従来のCO2レー

ザーでは加工できなかったチタン、アルマイト材などの難加工材でも微細な加工ができるのが最大の利点という。見学者は担当者の説明に耳を傾けながら、自動で次々に加工処理されていく様子を見守っていた。田名部社長は同機の導入について「作業効率は確実に上がり、省エネにもつながっている。今後はチタン材の加工で航空業界などを開拓し、事業領域を広げていきたい」と話している。



田名部徹朗  
社長



同機で加工した  
難加工材



国内初導入のファイバーレーザー複合加工機



真剣な表情でメーカー担当者の説明を受ける参加者たち



共催メーカーのブースでも商品をアピールしていた



九州最大級の粉体塗装の自動ライン。この日は土曜日で、工場は通常通り稼働していた



こちらは九州初導入の  
新型ブレーキプレス機